新年度予算化された主な事業

- あんしんケアセンター増設
- 学校施設の環境整備（大規模改造、トイレ改修等）
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組
- 子ども・子育て支援新制度給付対象施設の整備
- エンディングプランサポート
- 市政だより発行　●防犯カメラ設置補助
- 妊娠・出産包括支援　等

会派として、**新年度予算に関する重点要望事項を提出**させていただきました。私からは、日本一の電子市役所に向けた ICT 化ついて、防災情報システムの取り組みについて、マイナンバーカードの有効活用について等、**具体的な施策を交えて要望**させていただきました。

市の教育現場が変わります！

４月１日より、給与負担及び学級編成基準等を定める権限及び財源が千葉市に移譲されることになりました。千葉市の小中学校の教育現場が変わることにより、より行き届いた教育の実現に向けた大きな一歩を踏み出しました。

「少人数学級」を実施せず、担任分として配置された教員を「少人数指導」担当として活用することができます。

小３に 72 人が在籍するケース

平成 29 年３月 31 日まで

36 人 × 2 クラス（教員２人）

1 組 36 人　2 組 36 人

学校の実情に応じて

平成 29 年４月１日から

少人数学級

24 人 × 3 クラス（教員３人）

1 組 24 人　2 組 24 人　3 組 24 人

少人数指導

36 人 × 2 クラス（教員３人）

1 組 36 人　2 組 36 人　少人数指導担当

加曽利貝塚 PR 大使「かそりーぬ」続投！

加曽利貝塚 PR 大使
かそりーぬ

加曽利貝塚 PR 大使の「かそりーぬ」の任期が平成 29 年３月 31 日となっておりましたが、代表質問・一般質問でも続投を求め、正式に続投が決定しました。加曽利貝塚の特別史跡化に向け、「かそりーぬ」とともに加曽利貝塚を千葉市の都市アイデンティティ確立に向けて PR していきます。

千城台旭小学校・南小学校統合場所合意！

千城台地区学校適正配置代表者会議を毎回傍聴し、統廃合の議論を見守ってきました。７年間の話し合いの末、旭小学校と南小学校を統合、旭小学校側に新校の準備をすることで合意、両校ともそれぞれの学校を理解し合い、結論づけました。今後、子供たちの環境面・施設面の要望をしっかりと受け止めて、行政に働きかけていきます。また、北小学校と西小学校の統合に向けた話し合いも引き続き見守っていきます。

プロフィール

1984 年：千葉県立四街道高等学校卒業
1988 年：千葉工業大学工学部電子工学科卒業
　松下電器産業株式会社入社
1996 年：米国連邦危機管理庁（ＦＥＭＡ）など米国防災視察団一員
2000 年：株式会社トレジャー・コミュニケーションズ代表取締役社長就任
2011 年：千葉市議会議員選挙（若葉区）初当選 3,849 票
　自衛官募集相談員
2012 年：千葉東ライオンズクラブ　幹事
2013 年：千葉県ドッジボール協会　理事長
　民主党千葉県第９区総支部　幹事長
2014 年：都市建設常任委員会　副委員長
　民主党千葉市議会議員団　副幹事長、議会運営委員会委員
2015 年：千葉市議会議員選挙（若葉区）２期目当選 5,824 票
　大都市制度・地方創生調査特別委員会　委員長
　広報委員会　副委員長
2016 年：千葉県立四街道高等学校　同窓会会長
2017 年：都賀の台自治会　会長

市政へのご意見・ご提案をお待ちしています。

お友達申請お待ちしてます！

twitter facebook 麻生のりお で検索!!

アメーバブログ 毎日更新中！
http://ameblo.jp/chibashigi-aso/

※この市議会便りは、二つ折りにして、保管していただくことが出来ます。

山折り線

政務調査報告資料　かわら版　平成 29 年３月発行

活気ある千葉市へ!!

未来民進ちば　副幹事長
総務委員会　副委員長
広報委員会　副委員長

麻生のりお

市議会便り No.15

ICT 化による市民サービス日本一の千葉市を目指して挑戦！

今年度は、会派の副幹事長を務めてきました。ICT 化による市民サービスの向上に向け、日々行政改革に挑戦しています。引き続き、マイナンバーカードを利用した本市独自のサービス等、ICT 技術を活かした電子市役所日本一の千葉市を目指していきます。

自　宅：千葉市若葉区都賀の台 3-10-37
事務所：千葉市若葉区西都賀 5-9-1
TEL：043-207-5561　FAX：043-207-5562
携帯：090-4838-7511
E-MAIL：aso@n-aso.com
ホームページ：http://www.n-aso.com/

小中学校のトイレ改修が本格的にスタート！

これまで会派として求めてきた市内小中学校のトイレ改修が、平成 29 年度より**本格的にスタート**することになりました。平成 28 年第４回定例会の私の代表質問にて、教育委員会から 10 年間で改修するとの明確な答弁がありましたが、更なる期間短縮を要望し、８年間での改修スケジュールとなりました。

トイレ改修の３つの改善要求

家庭では９割以上、商業施設でも洋式便器の設置割合が高いのが実情であり、今の日本の生活スタイルから考えても、便器の洋式化が必要。

現行のタイル張り床で水を流して清掃を行う湿式の場合は、常に床がぬれていて細菌の温床になっており、乾式に比べて臭いや細菌など衛生面で課題。

水道使用料が 1/2 近く節水でき、１校あたり 100 万円（規模による）近い金額が節約可能、ランニングコストの節減効果から改修費用をまかなえることが可能。

今後、大規模改修と並行してトイレ改修が行われていきます。改修されたトイレは明るく清潔感もあり、きれいに維持管理していくことも大切です。

また、８年間という期間が明らかになりましたが、今後は早期に全ての学校の改修ができるよう、予算措置も含めて求めていきます。

第4回定例会　平成28年 第4回定例会　代表質問で登壇！

平成28年第4回定例会にて、**会派の副幹事長として2度目の代表質問者として登壇**し、新年度予算に向け、これまでの会派の取り組みを中心に、**市政運営の基本姿勢から市政全般の質問を行いました。**特に、学校施設の老朽化対策、千葉都市モノレールへの経営支援、競輪事業存続に向けての取り組み等、**より具体的な答弁を引き出すことができました。**詳細は、市ホームページで録画放映されておりますので、是非ご覧ください。

1 市民サービスについて　マイナンバーカード普及の現状！

Q　申請数と申請率及び住基カードから切り替えていない方の人数については？

A　本年10月末時点のマイナンバーカード申請数は約11万3000件、申請率は約11.7%で、住基カードからマイナンバーカードへ切り替えていない方は約3万9000人、住基カードに搭載されている電子証明書の有効期限切れにより、e-Taxを利用できなくなります。

2 教育環境について　学校のトイレ整備を10年で改修！

その後、8年に短縮!!

Q　学校のトイレ整備は、今後どのように進めて行くのか？

A　早期に改善する必要があることから、最優先で取り組まなければならないと認識しています。このため、小学校低学年の児童が使用するトイレについて、便器のみを洋式化する簡易な手法も取り入れつつ、全体的な整備にあたっては、大規模改修及びトイレ単独改修により、国庫補助金を活用しながら、各学校の建築年度や洋式化率等を勘案し、今後約10年をかけて実施したいと考えています。

3 都市行政について　千葉都市モノレールの経営支援へ！

Q　千葉都市モノレールの経営への、市の支援の方向性については？

A　会社再建時の設備更新計画からの設備更新費の増加分をモノレール会社独自で吸収することは困難であることから、開業28年が経過し今後増大する設備更新費用のうち、安全な運行のため早急に対応する必要がある車両更新に対する費用及び、車両基地内の耐震補強の費用への補助を検討するとともに、引き続き、安定した会社経営に向け、更なる収入確保や経費節減など、あらゆる手段について会社と検討を進めたいと考えています。

4 経済について　競輪事業の存続へ！

Q　本市競輪事業の継続に向けての今後の見通しについては？

A　本市競輪事業の包括委託先事業者である日本写真判定株式会社から、国際規格に則った屋内板張り250mトラックを有する多目的施設を自社負担にて整備し、スポーツ施設として運営するとともに、国際ルールに基づく競輪を実施するとの提案がありました。

事業者の提案では、新たな施設を、自転車を核としたスポーツの拠点として運営するとともに、競輪事業につきましては、新たなスタイルの競走により幅広い年齢層の新規ファンを開拓し、売上の向上などを図るとし、また29年度末をもっての廃止に向けた主たる理由である、施設の著しい老朽化に伴う大規模修繕費用の捻出についての課題も解消されるものとなっています。

この提案内容につきましては、競輪事業を含む、施設全体の運営に関する事業者側の事業計画や収支についての精査、国際ルールに基づく競輪を実施するための諸規程の変更など、実現に向けて整理が必要となる課題がありますが、競輪事業の今後についての選択肢の一つとして、関係団体等との協議などの検討作業に着手しました。

マイナンバーカードを取得しよう！

コンビニ交付をスタートしました。今年度はマイナポータルを活用した電子サービスも始まります。

本市のマイナンバーカード交付状況

交付数：103,018件
交付率：10.67%
（平成29年2月28日現在）

5 子どもについて　待機児童ゼロに向けて！

Q　平成29年4月の待機児童解消に向けた対策については？

A　ハード面では、幼稚園の認定こども園移行や保育需要の高い地域で新たな認可保育所の整備を進めているところであり、平成29年4月開設予定の施設数は、現時点で46ヶ所、これによる定員の増加数は1018人の予定です。

ソフト面では、今後実施する来年4月の入所選考に際し、全区に配置している子育て支援コンシェルジュや職員によるきめ細かな情報提供・あっせんを通じて、できるだけ多くの方が保育施設を利用できるよう努めます。

6 都市について　泉自然公園の活性化に向けて！

Q　内陸部の魅力向上についてどのように取り組むのか？

A　今後は、民間のノウハウを活用しながら、泉自然公園や農業関連施設を初めとする公共施設と魅力ある民間施設を、スマートフォンなどを活用した情報提供や参加型イベントの開催、サイクリングコースやウォーキングコースの設定などにより有機的に結合し、内陸部全体で観光、ものづくり、体験学習など多様な楽しみを享受できる集客観光のネットワークを構築し、市内外の多くの方に訪れたいと思っていただけるような興味あふれる取り組みにより、内陸部の魅力向上を図って参ります。

第1回定例会　平成29年 第1回定例会　一般質問で登壇！

これまで私は、**専門的な知見を活かし、大規模災害に対応した情報システムの構築や情報インフラの整備を提案**してきました。相次ぐ災害により明らかとなる新たな課題に対応するためにも、改めて総合防災情報システムの在り方を考える必要があります。そこで、かねてより要望してきた**職員参集システムがようやく導入され、運用が開始**されました。

1 千葉市の総合防災情報システムの在り方

Q　システムの運用開始後、実際に使用されたケースは？

A　昨年11月22日の午前5時59分に発生し、中央区で震度4を観測した地震の際には、午前6時5分に気象庁から発表され、同7分に参集メールが職員へ自動配信されています。このときの配信では、震度4の地震発生時で登録された職員253名に対し、配信完了までにかかった時間は13秒でした。

Q　避難所などの公共施設へのWi-Fi環境の整備を提案してきましたが、本市避難所のWi-Fi整備の現状については？

A　コミュニティセンター5ヶ所、勤労市民プラザ2ヶ所、及び県施設である青葉の森公園芸術文化ホールの合計8施設に設置されています。

意見・要望　**本市避難所は全体で276ヶ所あり、Wi-Fiが使用できる避難所はまだまだ少なく、国の整備計画にあるとおり、本市のWi-Fi環境整備を積極的に進めることを強く要望します。**

2 加曽利貝塚の特別史跡化について

Q　加曽利貝塚が特別史跡に指定されるか否かの結果はいつごろわかるのか？

A　本市が意見具申した資料をもとに、今後、文部科学大臣の諮問機関である文化審議会で議論されることになりますが、スケジュール等は公開されておらず、結果が出る時期についても明らかにされておりません。なお、本市としては、必ずや国特別史跡に指定されるものと考えています。

Q　新たな発掘調査は、いつごろから始めるのか？

A　指定史跡内で発掘調査を行うためには目的となる研究テーマを決めて、どこを発掘するか計画を作った上で、文化庁の許可を得る必要があることから、着手は早くても秋ごろになる予定です。

Q　実際に現地を訪れる人は増えているのか？

A　入館者数は、平成25年度までは年間17000人程度でしたが、27年度は26000人、本年度は既に40000人を超え、平成では最大の入館者数です。